

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス小祿教室		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○訪問先施設評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	11か所	(回答数) 11か所
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問先に複数の職員が訪問できる体制を整えています。	・訪問先のご希望日程と職員の勤務体制が合わない場合でも、双方にご負担をおかけすることなく、訪問を実施できる体制を常に整えています。	・複数の職員が訪問することで、多角的な視点から観察を行い、より質の高い支援の提供に努めています。
2	・社内においてリーダーとされる役割を設け、会社全体で情報共有を行っています。	・毎月、各事業所のリーダーが集まって事例を基に話し合いを行い、その内容を事業所に持ち帰り職員間で情報共有を行っています。	・訪問児童の様子や訪問先施設からの要望等があった場合、リーダーに報告の上社内全体で情報共有を行い、適切な改善策を講じた上で訪問を実施していきます。
3	・園や学校等の訪問先情報を会議で共有し、改善に努めています。	・訪問先からいただいた情報は、日々の会議の議題として取り上げ、その内容を基に会議を行い次回の訪問に活用しています。	・課題や問題点等が発生した場合は、事業所内で会議を行い引き続き問題の改善に努めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・経験の浅い職員が学びながら訪問を行っています。	・保育所等訪問経験者の体制が整っていなかったため、学びながら訪問を行っています。	・本年度は、複数の職員が現場経験を積むことができました。次年度もさらに経験を積み、新たな職員の育成にも努めています。
2	・通所利用児童以外の訪問に関しては体制を整える必要があります。	・通所利用以外の児童は、1名のみ受け入れています。	・通所利用児童以外の保育所等訪問に関する問い合わせをいただいた際、慎重に検討していきます。
3	・保護者の要望する利用日数分の訪問ができるような体制作りが必要だと考えられます。	・保育所等訪問に対応できる職員の育成をより一層図っていく必要があると考えられます。	・より多くの職員が保育所等訪問支援を経験し、個々のスキルを高めていくことで、保護者の要望する利用日数分の訪問ができる体制づくりに努めています。